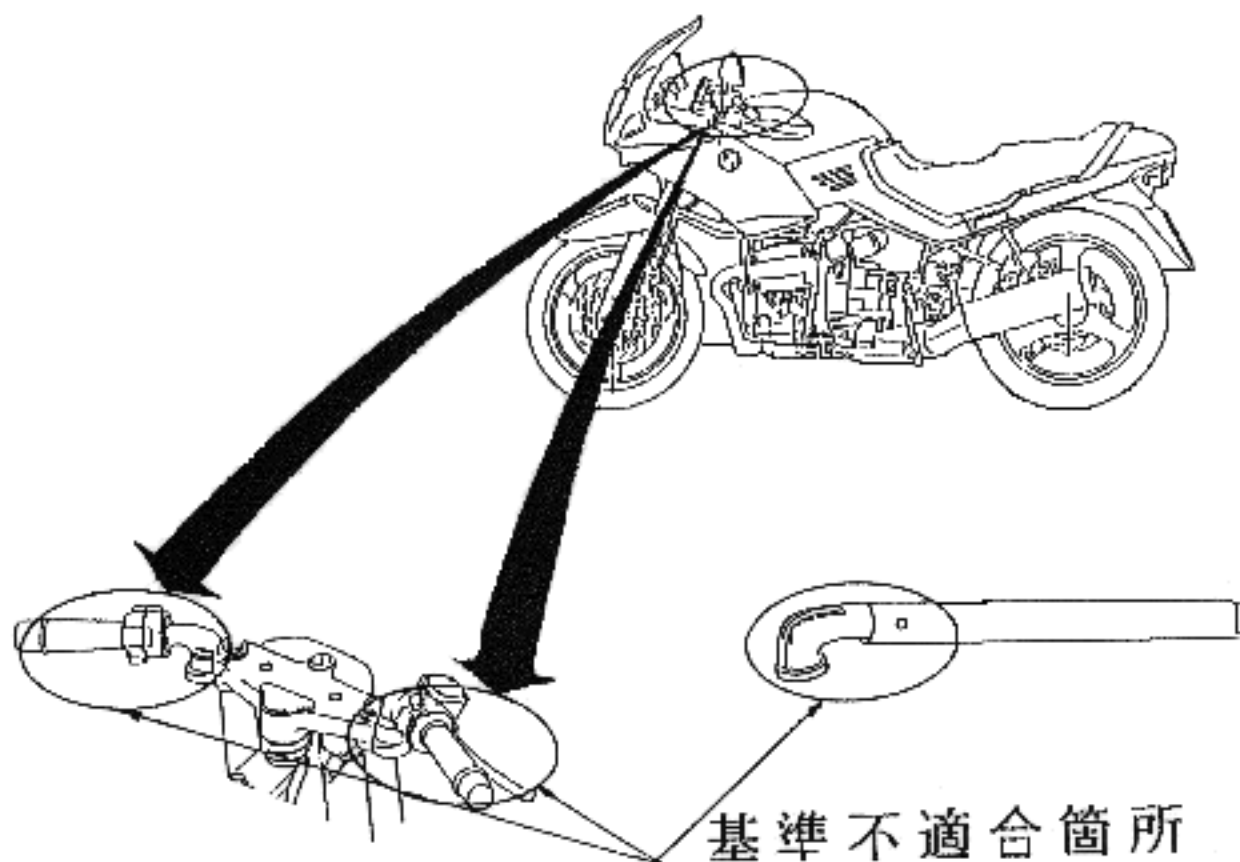


改善箇所説明図

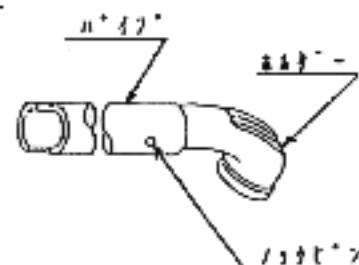


基準不適合箇所

ハンドルバーを構成するパイプとホルダーのかん合部において、加工精度の不適切なものがあり、このままの状態で使用を続けると、走行中の振動等により、当該かん合部にガタが生じ、最悪の場合、当該ハンドルバーのかん合部に亀裂が入るおそれがある。

ハンドルバー

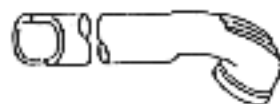
対策前



ホルダー部にパイプを圧入しノックピンで固定。

対策後

識別：艶消しシルバー塗装



パイプ及びホルダーを一体加工

対策内容

当該ハンドルバーを対策品と交換する。